

【報道発表資料】

学校用地の利用計画について

平成28年2月18日に学校法人常葉学園とポーラ化成工業株式会社との間で売買契約を締結した学校用地の利用計画は、次のとおりとする。

1. 土地概要

- ① 所在地 静岡市駿河区弥生町633番2ほか18筆（旧ポーラ化成工業静岡工場跡地）
* 国道1号線沿、JR草薙駅北口から徒歩約4分
- ② 敷地面積 約43,200m²（約13,000坪）
- ③ 用途地域 工業地域（容積率200%、建ぺい率60%）

2. 利用計画

- 常葉大学及び常葉大学短期大学部の新たな学校用地として同地に（仮称）草薙校舎を建築し、常葉大学静岡キャンパス瀬名校舎との一体的運用を図る（瀬名校舎－草薙校舎間は、徒歩約20分）。
- ① 静岡キャンパス瀬名校舎の教育学部、外国語学部、大学院（国際言語文化研究科・初等教育高度実践研究科（教職大学院））は、草薙校舎へ移転する。
⇒ 平成30年4月
 - ② 静岡キャンパス瀬名校舎の造形学部は、当分の間現在地（静岡市葵区瀬名）で教育研究活動を継続するが、将来的には草薙校舎へ移転する。
⇒ 移転時期未定
 - ③ 富士キャンパスの保育学部は、収容定員増を実施し（構想中）、同キャンパスの経営学部、社会環境学部、大学院（環境防災研究科）とともに草薙校舎へ移転する。
⇒ 平成30年4月
 - ④ 経営学研究科を草薙校舎に設置する。
⇒ 設置時期未定
 - ⑤ 常葉大学短期大学部保育科は、収容定員減を実施（構想中）し、日本語日本文学科及び英語英文科とともに現短大部キャンパスから草薙校舎へ移転する。
⇒ 平成30年4月
 - ⑥ 短大部音楽科は、現短大部キャンパスから常葉大学静岡キャンパス瀬名校舎に移転する。
⇒ 平成31年4月（将来的には造形学部と同様草薙校舎へ移転するが、移転時期は未定）
- 草薙校舎は、大学5学部、大学院3研究科、短大部3学科からなる学生数約4,000人のキャンパス規模を想定している（時期未定の大学の学部、大学院の研究科、短大部の学科を除く）。
- なお、浜松キャンパス（大学=経営学部・健康プロデュース学部・保健医療学部、大学院=健康科学研究科）は、当分の間現在地（浜松市北区都田町）で教育研究活動を継続する。

3. 校舎建設概要

- ① 設計施工 株式会社竹中工務店 名古屋支店（名古屋市中区錦二丁目2-13）
* 工期短縮及び建設コスト削減のため、設計施工一括発注方式による
- ② 工期予定 着工：平成28年9月
竣工：平成30年2月（18カ月）
- ③ 構造 鉄骨造 6階建
- ④ 延床面積 約54,000m²（16,000坪）
- ⑤ 主な施設 校舎棟、体育館、図書館、学生食堂、コンビニ、ブックセンター、クラブハウス、駐輪場、駐車場